

7億円の美術館 寄付は、美談か！？

市長がはじめて出席した7月24日の「美術館説明会」。これは当初予定の「工事説明会」を急遽変更したもの。この日も次々と疑問や意見が出されたが納得できるものではなかった。ますます、市への不信感が増幅された。

全市民への「美術館説明会」をこれで終わらせてはならない。だが、またもや「工事説明会」浮上。

● 7億円は妥当か？ 根拠の明確な金額か？

当該契約（覚書）には、枚方市が30年を経ずして美術館を維持できなくなった場合、7億円から減価償却された額を寄付者に返さなくてはならないという意味のことが記されている。ところが、枚方市は7億円の美術館建設の価格の根拠を把握していない。

● 開示された覚書

市長と寄付者の覚書の取り交わしは、「平成26年3月24日」で、本会議議決の3月26日の2日前となっている。これは、市長の独断専行、市議会軽視ではないか。

● 毎年の赤字額は7千万円では済まない！

この額の中に、実は、庭園の維持管理費は含まれていない。赤字はますます増大の見込み。

● 市長の言い訳はすでに破綻している！

「本会議での可決前に市民に周知説明することはできなかった」と繰り返し弁明する市長。寄付の申し出から本会議までに8ヶ月以上の期間があり、その間に4人の校区コミュニティ会長に説明しているではないか。しかも、担当部長は、議会で議員からの「可決前に市民に知らせると何か不都合があったか」との質問に、「不都合はなかった」と答えている。市民に十分周知説明することは可能であったのだ！！にもかかわらず、説明しなかった。なぜか……？

工事説明会 2014年8月19日（火）19:00～20:30 場所：開成小学校多目的室 枚方市香里ヶ丘2-5

…日々大きくなる反対の声を無視し続ける市長…
工事着工反対！！工事説明会の強行を許すな

私たちは「緑」と環境の問題を含むさまざまな問題を市民参加で英知を集め、究明することが必要と考えています。いまだに美術館の全容が示されていません。工事説明会は取りやめ、全市民対象の説明会を開くことを要求します。又、市民主催の報告会やシンポジウムの開催も考えてはどうでしょうか。